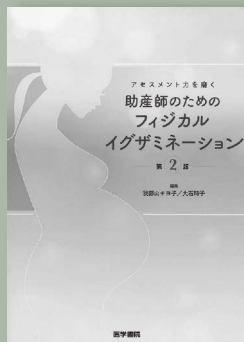


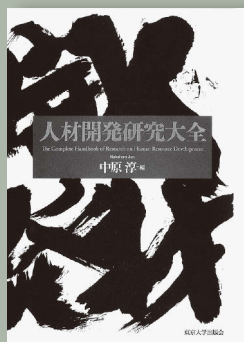
今月の 新刊紹介



アセスメント力を磨く 助産師のための フィジカルイグザミネーション 第2版

編：我部山キヨ子／大石時子
発行：医学書院
定価：本体 3600 円＋税

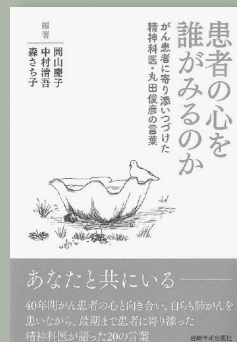
助産師に必要なフィジカルイグザミネーションについて、技術と基礎知識を網羅して好評を博した書籍の改訂版。オールカラーでさらに図版が見やすくなったほか、CLoCMiPを踏まえ、呼吸・循環器系、脳神経系、代謝系の異常に関する章を新設。ハイリスクや、正常・異常の判断に関わるアセスメントの解説も充実。



人材開発研究大全

編：中原淳
発行：東京大学出版会
定価：本体 9200 円＋税

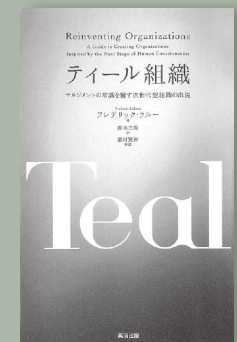
人材開発に関する日本で初めての研究論文集。多岐にわたる分野で活躍する人材開発研究者らによる、人的資源開発論、産業組織心理学、経営学習論などさまざまなアプローチからの最新の知見を、約 900 ページに一挙収載。研究と実務のための必読書。新人看護師育成についても 2 章にわたり取り上げている。



患者の心を誰がみるのか がん患者に寄り添いつづけた 精神科医・丸田俊彦の言葉

編著：岡山慶子／中村清吾／森さち子
発行：岩崎学術出版社
定価：本体 1800 円＋税

米国メイヨ・クリニックで 30 年以上ががん患者への精神療法に取り組んだ医師・丸田俊彦氏。帰国後、自らも肺がんを患いながら、がん患者へのグループ・セラピーに取り組んだ。丸田氏が遺した患者と共にあるための珠玉の言葉を 20 篇にまとめた。丸田氏に多大な影響を受けた中村清吾氏らも文章を寄せた。



ティール組織 マネジメントの常識を覆す 次世代型組織の出現

著：フレデリック・ラルー
訳：鈴木立哉
発行：英治出版
定価：本体 2500 円＋税

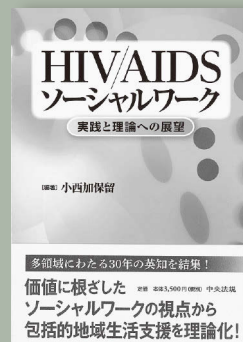
組織開発に関わる人の中で大きな話題を呼んでいる本書。上下関係も、売上目標もない次世代型の組織モデル、新たな経営手法のありようとは。本書が提言する、理念が組織の中心にあり、人と人が関わり合い、自主運営される事例として、オランダで成功を収める在宅ケア組織「ビュートゾルフ」を取り上げている。



がんと命の道しるべ 余命宣告の向こう側

著：新城拓也
発行：日本評論社
定価：本体 1700 円＋税

病院勤務を経て診療所で在宅緩和ケア、在宅看取りに取り組む新城氏。「最期は苦しみますか?」「なぜ私ががん?」といった、日々患者から投げかけられる切実な問いに向き合い続ける医師が語る終末期医療の現実と希望。「治療としての終末期鎮静—その現実」「緩和ケア医を生きる」などの 4 章に綴った。



HIV/AIDS ソーシャルワーク 実践と理論への展望

編著：小西加保留
発行：中央法規
定価：本体 3500 円＋税

HIV/AIDS に関連する医療の進歩は目覚ましいが、罹患者への生活支援の道はまだまだ険しい。本書は、感染症としての基本知識を押さえつつ、ソーシャルワークの観点からセクシャリティやメンタルヘルス、就労支援、薬害など関連テーマを掘り下げた。支援に必要な知識を網羅的に学べる 1 冊。